



Mother's Day & Father's Day in Japan : 授業アイデア (簡 単版)

日本の母の日・父の日をテーマにした英語の授業アイデ
ア 2本

Class _____ No. _____ Name _____

1. 英語で感謝のカードを書こう

中学・20分

🎯 Thank you for ~ing. の形を使い、具体的な感謝を英語で書ける。

1. Thank you for everything. と Thank you for making lunch every day. を比べ、具体的に書くと伝わることを確認する。
2. 家族や身近な大人を1人選び、感謝したいことを3つ日本語でメモする。
3. Thank you for ~ing. の形で英文にし、カードに書く（家族の形に配慮し、渡す相手は自由にする）。

2. 年表で読む：母の日・父の日はどう広まった？

高校・25分

🎯 宣教師・婦人会・企業・業界団体など、行事を広めた人々の役割を英語で説明できる。

1. 1913年・1931年・1932年・1949年・1981年・1982年のカードを配り、グループで年表に並べる。
2. 各出来事について Who started it? Why? を英語で1文ずつまとめる。
3. 行事が広まるのに大切だったものは何か、グループで意見を出し合って発表する。



1. 英語で感謝のカードを書こう

授業手順書（詳細版）／対象：中学／20分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

Thank you for 〜ing. の形を使い、具体的な感謝を英語で書ける。

準備

- アクティビティ集 B4（カード）を1人1枚
- Thank you for everything. と Thank you for making lunch every day. を書いた短冊2枚
- 動詞の ing 形の例を集めた一覧（making / helping / driving / listening など）
- メモ用の小さな紙（1人1枚）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	2枚の短冊を黒板に貼り、「もらってうれしいのはどっち？」と聞く。Thank you for everything. は便利だが、何がうれしかったのかを書く気持ちがよく伝わることを確認する。	2つの文を比べて、どちらがうれしいか、なぜかを考える。	“Look at these two cards.” “Which one makes you happier?” “The second one tells us what you are thankful for.”
展開1	5	Thank you for 〜ing. の形を板書し、for のあとは動詞に ing をつけることを確認する。ing 形の一覧を見ながら、先生の例文をいくつか言い、まねして言わせる。	for のあとの形を確認し、例文をまねて言う。	“After for, we use ing. Making, helping, listening.” “Thank you for helping me with my homework.” “Thank you for listening to me. Repeat.”
展開2	9	感謝を伝えたい相手を1人選ばせ、感謝したいことを3つ日本語でメモさせる。家族の形はさまざまなので、相手は家族でも先生やコーチなど身近な大人でもよいと伝える。メモを Thank you for 〜ing. の文にして B4 のカードに書かせ、Useful phrases の Happy Mother's Day! などを書き出しに使わせる。	相手を決め、感謝したいことを3つメモしてから英文にし、カードに書く。	“Choose one person. It can be anyone who helps you.” “Write three things in Japanese first.” “Now change them into English. Thank you for ...ing.” “You can start with Dear ..., and end with From ...”
まとめ	3	希望者に1文ずつ読んでもらう。日本では母の日に赤いカーネーション、父の日に黄色いバラなどを贈ることにふれ、カードに花の絵を描いてもよいと伝える。	書いた文を1つ読み、友だちの文を聞く。	“Who can read one sentence?” “That's a nice message.” “In Japan, people give red carnations to mothers and yellow roses to fathers.”

板書例

Thank you for everything.

↓ もっと具体的に

Thank you for making lunch every day.

Thank you for + 動詞ing.

helping me / driving me to ... / listening to me

🌸 Mother's Day : red carnations

🌻 Father's Day : yellow (黄色いバラ・ヒマワリ)

評価のポイント

- for のあとに動詞の ing 形を使って文を書けたか。
- everything ではなく、具体的な行動を書けたか。
- カードの書き出しと結び (Dear ... / From ...) を正しく書けたか。

つまづきへの手だて

- 相手が思いつかない生徒には、先生・コーチ・近所の人など、身近な大人でよいと個別に伝える。
- 動詞が出てこない生徒には、ing 形の一覧から選ばせる。
- 英文が長くなりすぎる生徒には、Thank you for cooking. のように2〜4語でよいと伝える。

発展

- アクティビティ集 B3 のロールプレイ（花屋でのリョウとクロエの会話）をペアで読む。
- 基本セット p.8 のなぞり書きで、rose / sunflower / present などなぞる。
- Thank you for 〜ing. の文を5つに増やし、いちばん伝えたいものに下線を引く。

使う教材

- アクティビティ集 B4（カード）
- アクティビティ集 B3（ロールプレイ）
- 基本セット p.8（なぞり書き）



2. 年表で読む：母の日・父の日はどう広まった？

授業手順書（詳細版）／対象：高校／25分

Class _____ No. _____ Name _____

ねらい

宣教師・婦人会・企業・業界団体など、行事を広めた人々の役割を英語で説明できる。

準備

- 年表カード6枚（班に1セット）：1913年 青山学院で教えていたドレーパー夫人が日本で最初の母の日の行事を開く／1931年 大日本連合婦人会が皇后の誕生日の3月6日を母の日と定める／1932年 東京で5月の「母の日大会」／1949年ごろ 5月の第2日曜日が定着／1981年 日本ファザーズ・デイ委員会ができる／1982年 黄色いリボンキャンペーン
- 基本セット p.1（読解）を1人1枚
- このサイトの英語ページの音声
- 基本セット p.2（4択/TF）

段階	分	先生	生徒	Teacher Talk
導入	3	「日本の母の日は戦後にアメリカから来た。○か×か」と聞く。手を挙げさせたあと、最初の行事は1913年で、アメリカの最初の母の日からわずか5年後だったと伝える。	○か×かを予想し、答えを聞いて驚きを共有する。	“True or false? Mother's Day came to Japan after World War II.” “Raise your hand if you think it's true.” “It's false. The first event was in 1913.”
展開1	8	基本セット p.1 の英文を音声で聞かせたあと、班に年表カードを配る。カードをバラバラに渡し、本文を手がかりに年代順に並べさせる。並べ終わった班から、先生が確認する。	英文を聞いて読み、班で年表カードを年代順に並べる。	“Listen to the passage first.” “Now put the six cards in order.” “Use the passage to check the years.” “Which came first, Mother's Day or Father's Day?”
展開2	8	各カードについて Who started it? Why? を英語で1文ずつまとめさせる。たとえば A teacher at Aoyama Gakuin started it. や A candy company held a party. のように、本文の語句を使ってよいと伝える。班でカードを分担してもよい。	カードの出来事ごとに、誰が・なぜ広めたのかを英語で1文書く。	“For each card, answer two questions. Who started it? Why?” “You can use words from the passage.” “For example, a businessman learned about Father's Day in New York.” “Share the cards in your group.”
まとめ	6	「行事が広まるのに大切だったものは何か」を班で話し合わせ、I think ... was important because ... の形で発表させる。宣教師、婦人会、お菓子会社、業界団体など、いろいろな人が関わったことを板書でまとめる。	班で意見を出し合い、大切だったと思うものを理由とともに英語で発表する。	“What helped these days spread in Japan?” “Talk in your group for two minutes.” “I think the company was important because many people came to the party.” “Both days came from America, but Japan made them its own.”

板書例

How did Mother's Day and Father's Day spread in Japan?

1913 a teacher at Aoyama Gakuin（宣教師）→ 最初の母の日の行事
1931 a women's group → March 6（皇后の誕生日）
1932 a big Mother's Day event in Tokyo（5月）
1949ごろ the second Sunday of May
1981 Japan Father's Day Committee（業界団体）
1982 Yellow Ribbon Campaign 🧡

Who started it? Why?

I think _____ was important because _____.

評価のポイント

- 本文を手がかりに、6枚のカードを正しい順に並べられたか。
- Who started it? Why? に、本文の語句を使って英語で答えられたか。
- 大切だったものについて、理由をつけて意見を言えたか。

つまづきへの手だて

- 英文が難しい生徒には、和訳を見ながら年号だけ探させる。
- 1文が書けない生徒には、A _____ started it. の型を渡し、主語だけ本文から選ばせる。
- 意見が出ない班には、「どの出来事がなかったら、今の母の日・父の日はなかったと思う？」と聞く。

発展

- 基本セット p.2 の4択/TF で内容を確認する。
- 英語ページの討論の問い（企業が広めたことはよいことか）について、賛成・反対の両方の理由を1つずつ書く。
- 日本の父の日の色が黄色であることを、外国の人に説明する英文を2文で書く。

使う教材

- 基本セット p.1（読解）
- 基本セット p.2（4択/TF）
- このサイトの英語ページの音声
- 年表カード6枚